

2010年農林業センサスの実施に向け2回の試行調査を実施

① 調査手法に関する試行調査 (20年2月実施)

目的

複数の調査手法により調査の効率・負担、精度等の比較検証を行うとともに、予算積算に必要な稼働量を把握するための試行調査

実施系統及び規模

(農林業経営体調査のみ実施)

- ・地方公共団体経由で実施
- ・全国7府県×2市町村×5調査区=70地区

検証内容

○ 調査客体候補名簿のレイアウトに関する検証

- ・これまで単記式であった調査客体候補名簿を連記式のレイアウトに変更し調査精度及び調査員の労力の違いを検証

○ 調査客体の判定手法に関する検証

- ・調査客体候補名簿の内容の一部を調査票に組み入れ、調査客体候補全てに調査票を配布し、手法の違いによる調査精度及び調査員労力の違いを検証

○ 調査票の回収方法に関する検証

- ・調査員の労力の軽減の観点から郵送による調査票の回収を行い、回収方法の違いによる調査精度及び調査員の労力の違いを検証

② 調査内容に関する試行調査 (20年7月実施予定)

目的

農林業センサス等研究会における検討内容等を踏まえ作成した農林業経営体調査調査票(案)及び農山村地域調査調査票(案)を用いて、調査票の試験を行うための試行調査

実施系統及び規模

○ 農林業経営体調査

- ・地方公共団体経由で実施
- ・全国7都道府県×1市町村×5調査区=35地区
(約700客体)

○ 農山村地域調査

- ・農林水産省地方組織で実施
- ・全国7都道府県×1市町村=7市町村
- ・全国7都道府県×150集落=1050集落

検証内容

○ 調査項目の編成の検証

- ・新たな調査票の項目が調査対象者に分かり易く、スムーズに回答できる編成となっているかを検証

○ 調査項目の記入状況等の検証

- ・調査項目が、記入しやすいものとなっているかどうか、調査票への記入状況等について確認

○ 調査結果の連続性の検証

- ・経営体調査での世帯概念による農家分類に必要な調査項目について集計結果の連続性を検証

○ 民間開放実施に関する検証

- ・地方自治体段階において、実査・取りまとめに関する事務を、民間開放した場合の課題や改善方策等について検証